

東京社保協ニュース

ホームページ <http://www.tokyo-syahokyo.net/>

NO.201号 2010年4月1日 発行

今月の主な記事

- 1 頁、東京社保協国会行動
- 2 頁、国保シンポジウム、3・23三多摩大集会
- 3～4 頁、「後期高齢者医療廃止葛飾の会」発足、ミニ学習会、次長が交代、お知らせ

東京社会保障推進協議会(東京社保協)
〒170-0005 豊島区南大塚2丁目33番10号
東京労働会館6階
TEL 03-5395-3165 FAX 03-3946-6823

東京社保協 国会行動開催

3月17日、衆議院第1議員会館第4会議室で、東京社保協・4・3東京大集会実行委員会の共催で、院内決起集会と議員要請行動、報告集会を行ないました。東京土建、東京民医連、東京地評、年金者組合、渋谷・台東・西東京社保協など8団体一〇九名が参加しました。

院内決起集会

高木史雄副会長・開会あいさつ

昨年の総選挙で政権交代があり、自公政権が退場し、民主党を中心とする政権が誕生しました。母子加算の復活、高校の授業料の無料化、子ども手当などは前進しましたが、中々変わりません。きょうは「後期高齢者医療制度をいまずる廃止して老健法に戻して下さい」と4・3集会のお誘いを中心にして国会議員要請行動を取り組んでいきたいと思えます。

中央社保協・相野谷事務局長あいさつ

後期高齢者医療制度は法案が通った後も大きな運動が起こった。今、公約違反のことが進められています。「後期高齢者医療制度は廃止します」と言っ

た1週間後、「戻すには2年かかる。1カ月後には4年先に」と言い始めた。しかも新しい制度を作ると言っている。新しい制度にむけて、高齢者医療改革会議が開かれています。第4回の会議では、65歳以上の人はすべて市区町村国保に移し、別建ての制度にする案が出されました。これは75歳以上を65歳以上に拡大するものです。姥捨て山の裾野を75歳から65歳に広げるものです。後期高齢者医療制度を速やかに廃止することが求められています。

昨年の総選挙でも、「後期高齢者医療制度の廃止」が大きな争点となりました。7月に行なわれる参議院選挙でも後期高齢者医療制度の即時廃止を大きな争点にさせていきたいと思います。

報告集会

議員要請は、東京選挙区・比例区の衆議院議員、衆議院厚生労働委員と東京以外の衆議院の一部の議員の71名の議員に要請と4・3集会への参加をお願いしました。

報告集会で報告された内容は
◆井上信治議員(自民) 本人、「都合がつけば4・3集会に参加します。」
◆「4年先は許さない。すぐ廃止して下さい」と訴えた。

◆山井和則厚労副大臣の秘書、「医療保険の一元化の内容はわからなかった」と回答。
◆中後淳(民主) 本人に会えた。医療保険の一元化の話をした。「みなさんの

不利益にならないようにしたい」と言った。制度についてわかっていないと思っ

◆藤村修厚労委員長、「政権を取ってみたら時間がかかることがわかった」公約通りにやって下さいと言ったら、「公平公正にやらなくてはいけない。65歳まで下げるのは矛盾だ」と回答。

◆道休誠一郎(民主) 秘書、「速やかに廃止とマニフェストで約束しているので、その通りやります。請願の紹介議員はできない」と回答。

◆内山晃(民主) 秘書、「直ちに廃止ということで政府側に要請している。今廃止の方向で作業している。少し時間がかかる」と回答

◆長妻厚生労働大臣室は面会拒否された。など要請した状況がよくわかる元気な報告がありました。国会議員に影響を与える意義ある要請行動となりました。



国保シンポジウム 「どうなる！国民健康保険」

国保シンポジウム「どうなる！国民健康保険」に101人参加

国保料が毎年引き上がり、滞納世帯が445万世帯になり社会的な問題となっています。しかも、滞納を理由に152万世帯が保険証を取り上げられ、このままの事態で推移するならば国民皆保険制度が形骸化することが懸念されます。

また、マスコミによる、国保組合が不正に国庫補助を受けているような報道がされ、国保組合に対する国庫負担削減の動きが強まっています。

このような状況の中で、国保料引き下げ・国民皆保険制度を守るために、東都保健医療福祉協議会（以下協議会）と東京土建立支部（以下土建）が共催し、東京社保協の後援で、3月6日に国保シンポジウム「どうなる！国民健康保険」を開催しました。

シンポジウムには、協議会職員、共同組織、土建組合員、東京社保協関係者など101名の

方が参加しました。

シンポジストとして、

東商連常任理事の斉藤学さん、東京土建国保組合専務理事の松本秀典さん、東京自治労連中央執行員

の鈴木佐千子さん、東京保健医師会副会長の竹崎三立先生に、コーディネーターを健和会医療福祉調査室長の安達智則さんをお願いをしました。

シンポジストから、「国保加入世帯の50%は貧困世帯であり、高い国保料により滞納世帯が20.8%になっており、国保料の引き下げの取り組みが重要。」

「国保組合に対する攻撃は、国保組合を解体し、医療保険の一元化をねらったものであり、国民皆保険制度を守るために、国保組合と公営国保を守る共同した運動が必要である。」

「国保課の職員が削減され、現場は大変な状況になっているが、国保制度改善のために公務労働者も頑張る。」国民皆保険制度を守るために、医療構造改革を止めさせることが重要である。そのため、今こそ運動を強めよう」などの報告がありました。

参加者からは、「国保制度改善の取り組みの課題がよく理解できました」「国保料の引き下げを勝ち取るう」「国保制度改

善の取り組みの重要さを学びました」などの感想や決意が述べられました。

最後に、安達さんから、「国民健康保険法を都道府県にする国民健康保険法の改正法案が今国会

で審議の予定である。また、来年の通常国会には医療保険制度の一元化法案の提出が準備されている。こうした改悪を辞めさせるためには、国保料の引き下げ・資格証・短期保険証発行を

辞めさせる取り組みを強めることが重要であり、その取り組みを通して医療構造改革をストップさせることができる」と強調されました。

今後、東京社保協を中心に、自治体に国保料の引き下げを求める要請、23区区長会や東京都国保連合会に対する要請、国保に関する事例の集約などを行い、

国保制度改善に向けての取り組みを強めていくことが重要となっています。今回のシンポジウムはその第1歩となった取り組みでした。

足立社保協

事務局長・中村 和司



はたらくルール確立！

後期高齢者医療制度は今すぐ廃止！

3・22三多摩大集会開催

連、菅原一茂
議長

後期高齢者医療制度は一日も早く撤廃を。雇用は正

三多摩春闘共闘、三多摩高齢期運動連絡会が中心となった3・22集会実行委員会は井の頭公園で「はたらくルール確立！後期高齢者医療制度は今すぐ廃止！議員

3・22三多摩大集会」を2500人の参加で開催しました。

集会は年金者組合合唱団と東京土建バンドで楽しく始まりました。憲法9条と25条を守り、政治を

前に動かすため共に頑張りましょう。その後、実行委員団

体からの決意表明があり、集会決議を全体の拍手で採択し、赤い字で書かれた「守れ」の文字を参加者全員が掲げ闘う決意を固めました。

集会後、井の頭公園駅に向けてデモ行進を行ない、「後期高齢者医療制度は今すぐ廃止しろ」「はたらくルールを確立しろ」医療保険制度の一元化は許さないぞ」など大きな声でシュプレヒコールを上げ元気に行進しました。



「後期医療廃止葛飾の会」発足の会 34団体120人が参加



昨年12月の葛飾社保協総会で、会場から後期高齢者医療制度の廃止をめざす運動体結成の提起がされ、1月にそのための「準備懇談会（15団体24人）、2月に「連絡会準備会」（28団体47人）、そして3月18日に「後期高齢者医療は今すぐ廃止、安心の医療実現をめざす葛飾の会」（略称「後期医療廃止葛飾の会」）が34団体120人の参加で正式に発足しました。

第一部は、「記念トーク」として、「いのちの山河」監督大澤豊さんと、4・3大集会実行委員会代表、吉田万三さん（元全高齢者クラブ（約160団体）、三師会（医師・歯科医師、薬剤師）、えてくるものは、いかにいのちを大切にするかであり、政治家はのために税金を使うことができるかどうか」と強調し、吉田さんは「首長は舟のへさきに立つ人、いのちを大切にすることが政治を前進させることができるのは、住民運動があつてこそだ」と体験も含め実感を込めて語られました。

第二部は、「記念トーク」として、「いのちの山河」監督大澤豊さんと、4・3大集会実行委員会代表、吉田万三さん（元全高齢者クラブ（約160団体）、三師会（医師・歯科医師、薬剤師）、えてくるものは、いかにいのちを大切にするかであり、政治家はのために税金を使うことができるかどうか」と強調し、吉田さんは「首長は舟のへさきに立つ人、いのちを大切にすることが政治を前進させることができるのは、住民運動があつてこそだ」と体験も含め実感を込めて語られました。

「葛飾の会」結成の呼びかけは、社保協会長名で行ない、区内の全高齢者クラブ（約160団体）、三師会（医師・歯科医師、薬剤師）、えてくるものは、いかにいのちを大切にするかであり、政治家はのために税金を使うことができるかどうか」と強調し、吉田さんは「首長は舟のへさきに立つ人、いのちを大切にすることが政治を前進させることができるのは、住民運動があつてこそだ」と体験も含め実感を込めて語られました。

集会は、4・3大集会へバスを仕立て参加することや、署名の推進、鳩山首相への手紙（集会決議）などを採択しました。当日、選出された代表には社保協会長公文さんと東京土建葛飾支部執行委員長・星谷さんが当面あたり、随時増やしていく。事務局には土建葛飾、が就き、事務局には土建葛飾、区労連、年金者組合、医療生協、四ツ木診療所、健和友の会水元ブロック、社保協の7団体が当たることも確認されました。

葛飾社保協 事務局次長・菅野勝祐



ミニ学習会

後期高齢者医療制度の動き、新しい制度とは 国会の状況

長妻厚労大臣は9/18「年齢で区切る仕組みは廃止する」、9/25「まずは、今の問題点を解決して、その後新しい制度の検討を進める」10/26「後期高齢者医療制度を老健法に戻すには2年間かかる」と発言。

鳩山首相は10/26所信表明演説で「廃止にむけて新たな制度の検討を進める」と表明。

これに基づき厚生労働省は「高齢者医療制度改革会議」を設置。約1年かけて検討し、制度改革大綱を定め、2011年に関連法案を国会へ提出。後期高齢者医療制度の廃止の時期は2013年3月末、2013年4月から新しい制度へ移行する方向で動いています。

厚生労働省が全国国民健康保険主管課長会議を開く

これからどういう方向ですすめていくかという会議を行なっています。主なものを紹介します。

〈国保法改正〉2010年度予算成立後、今国会に提出されます。

① 国保財政基盤強化策を4年間延長する。

② 都道府県が「広域化等支援方針」を策定できるようにしたい。

③ 高額所得者の賦課限度額を59万円を63万円に。

④ 資格証明書交付世帯を高校生以下に拡大 平成22年7月より。

⑤ 協会けんぽの財政問題への対応に合わせ、国保組合に対する補助金の見直しを行なう。

〈後期高齢者医療制度〉

① 市町村国保の広域化につながる見直しを行なう。

② 都道府県は、市町村国保の広域化を進めるため、環境整備として広域化支援方針を定めることができる。

〈高齢者医療改革会議〉

第1回（11/30）・第2回（1/12）では内閣が出した提案の確認と総括的な議論。

第3回から個別テーマごとの議論 第3回は2/9、新制度の基本的な枠組みと運営主体

第4回は3/8、費用負担のあり方

第5回は4月に、保険料・給付・医療サービス等のあり方、今年夏に基本骨格を中間的にと

4面に続く

りまとめ、国民に対する意識調査の実施、地方公聴会開催、今年末までに最終的などりまとめ、平成23年の通常国会に提出、平成24年3月末に後期高齢者医療制度廃止、同年4月より新しい制度へ移行。と国会で政治と金の問題で大荒れしている中、着々と新しい制度に向けて進められています。

まず国保の都道府県単位の一元化そして協会けんぽ・被用者保険を含めた医療保険制度の一元化の方向で動いています。

65歳以上は全員市町村国保に加入

第4回高齢者医療制度会議では、宮武委員試案として、65歳以上は全員市町村国保に加入し、高齢者の医療給付費を公費・高齢者の保険料・若人の保険料で支える仕組みが出され、別建ての制度にするというものです。

後期高齢者医療制度に対し、一日も早く廃止して欲しいと高齢者・国民の世論が起きている中、さらに年齢を65歳に拡大し、差別医療を押しすすめようとするものです。

医療保険一元化とは

- ①国保を運営する自治体への財政支援を強化する。
- ②医療保険制度間ならびに制度

内の負担の不公平を是正する。
③被用者保険と国民健康保険を順次統合し、将来、地域保険として一元的運用を図る。

医療保険一元化は、公営国保をまとめることにより、国庫補助を削減することが可能となる。都道府県に責任を押し付け、保険料設定を医療費と連動、都道府県単位にして地域医療を自ら律することで医療供給体制の縮小を狙い、さらに国庫補助を減らせる自動抑制装置をつくらうとしています。

新しい制度、医療保険制度の一元化を阻止するには

◆地域でチラシも活用して草根の学習会を広げていきましよう。地域住民にも学習会を知らせ、学習会への参加を広げていきましよう。

◆すべての自治体の議会に、後期高齢者医療制度を即時廃止して老人保健法に戻せ、医療保険制度の一元化はやめて下さい。の国へ向けた意見書を上げていきましよう。(文書は東京社保事務局で作成します)

◆地域諸団体・老人クラブなど幅広い団体へ学習会・署名などを広げていきましよう。

◆地元国会議員へ要請しましよう。



東京社保協に来
て5年が
経ちまし
た。東京
土建では
長年社会保
障対策部で
活動してき
ましたが、
東京社保協
に来た医療
年金、介護
、障害者問
題、高齢者
問題など幅
の広い運動
に驚きまし
た。

夢中で突っ走ってきた5年でした。長く続いた自民党中心の政権から民主党中心の政権へ変わり、頑張れば大きく変えていける展望も広がっています。
4・3大集会IN東京を大成功させ後期高齢者医療制度の即時廃止を実現させましよう。多数派になる運動が広がれば変えていけます。社保協の果たす役割はますます重要になっていきます。5年間ありがとうございました。



3月26日付で、成平事務局次長から交代し、事務局次長に派遣された寺川慎二です。17年前の1993年に東京土建豊島支部に入局し、この6年間は、本部で30・40代の子育て世代の組合員の定着と組合活動への結集を強め、支部・分会役員への若手の登用をす

事務局次長が交代しました

める「後継者対策部」という部門を担当してきました。社会保障分野そのものは経験も少なく、一から勉強しながらみなさんと共に運動をすすめて行きます。地域社保協のみなさん、社会保障運動とともにすすめている仲間のみなさん、よろしくお願ひいたします。

お知らせ

- 4・3大集会IN東京 4月3日(土) 13時30分開場
14時開会 明治公園
- 東京社保協常任幹事会 4月22日(木) 13時30分～
東京労働会館5階会議室
- 第37回東京社保学校 5月22日(土) 9時30分開場
10時開会 けんせつプラザ東京(東京土建本部会館)
案内チラシに申込書がついています
- 東京社保協40周年記念レセプション17時50分～20時
東京社保学校終了後、同会場で行ないます。

**後期高齢者医療制度は
いまずぐ廃止!
安心の医療実現!**
4・3大集会IN東京
◆全力を上げ、1万5千人を超える集会で成功させましよう!
◆チラシを使って宣伝行動を